

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1015 介護予防施設管理運営事業	会計	01	一般会計
基本 施策	06 高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
		項	02	老人福祉費
		目	01	老人福祉総務費
行革大綱の重点事項番号		細目	204	在宅老人援護事業
担当部課		細々目	01	介護予防施設管理経費
コード		653000	担当者	田中優
名称		阿山支所 住民福祉課	氏名	
		連絡先	43 - 333	(内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	鞆田地域の住民	※対象件数
成果(どうする)	介護予防ができ、医療費の削減となる。	
根拠法令・要綱等	鞆田地区介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	上友田地区を指定管理者として「いきいきセンター」の管理運営業務を行なう。設置している健康器具(電位治療器、自動血圧計、ウォーキングマシン、マグネットパイプ、マッサージチェア、フィットネス機器)の利用により介護予防を図る。開館時間は月曜～金曜日の午前9時から午後5時までで、休館日は土、日曜日及び国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	550 千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
年間利用者数	人	目標	4800	4800	4800	4800
		実績	5888	4298		
		目標				
		実績				

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値		
				H20	H21	H22	H23	
年間利用者数	年間利用者数	「いきいきセンター」の年間延べ利用者数	人	目標	4800	4800	4800	4800
				実績	5888	4298		
				目標				
				実績				

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	550	550	550	550	550	550	550	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	550	550	550	550	550	550		
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人(法人)の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	指定管理者制度としており、期間は2年間である。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 上友田地区が維持管理しており、介護予防拠点施設として日中開館し、人員配置を行った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福田真由美
【方向性】	現状維持
【理由】	高齢者のみならず、地域全体が介護予防に関心を持ち、地域住民の健康維持のため、地域の介護予防拠点施設として、健康器具等を設置している。地域の交流の場でもあり、上友田地区に指定管理されている。
現時点における 課題、その他	普段午前9時から午後5時まで開館しているため、人員を配置する必要があり、指定管理料は人件費に充てている。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	